

船舶事故等調査報告書

平成26年8月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013横第25号
事故等種類	衝突
発生日時	平成25年1月25日 07時55分ごろ
発生場所	三重県志摩市大王埼南南東方沖 大王埼灯台から真方位164° 88海里付近 (概位 北緯32° 52.0′ 東経137° 23.0′)
事故等調査の経過	平成25年2月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A LNG船 <sup>ゴラー アークティック</sup> GOLAR ARCTIC（マーシャル諸島共和国籍）、94,934トン 9253105（IMO番号）、GOLAR LNG 2216 CORPORATION B 漁船 <sup>ぜんりき</sup> 第二十一全力丸、14.0トン、 ON2-0869（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A（スペイン籍）、免状不詳 B 船長B、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	A 右舷外板に擦過傷 B 船首、球状船首部及び左舷外板に破口等
事故等の経過	A船は、船長Aほか33人が乗り組み、LNG約62,000tを積載し、オーストラリア連邦ダンピア港から京浜港川崎区に向け、大王埼南南東方沖を北東進中、平成25年1月25日07時55分ごろA船の右舷とB船の船首部とが衝突した。 B船は、船長Bほか5人が乗り組み、1月16日漁場に着いてまぐろはえ縄漁の操業を開始し、25日、大王埼南南東方沖を約6.0ノットの速力で投網を行いながら北進中、B船とA船とが衝突した。 A船は、航行を継続して1月28日京浜港川崎区に、B船は、操業を継続して1月27日和歌山県那智勝浦町勝浦漁港にそれぞれ入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 5、視界 良好 海象：波向 西北西、波高 約2.5m
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A 不明、B 不明 A 不明、B 不明 A 不明、B 不明 A船は、大王埼南南東方沖を北東進中、B船と衝突したものと考え

	<p>られるが、A船から情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることができなかった。</p> <p>B船は、大王埼南南東方沖において、投網を行いながら北進中、A船と衝突したものと考えられるが、B船から情報が十分に得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることができなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、大王埼南南東方沖において、A船が北東進中、B船が投網を行いながら北進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>